

# 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	マツシタ マサオ 松下 雅雄 平成28年8月1日		体育学士		鹿屋体育大学 学長 (平成28年8月～令和4年3月)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。

教 員 の 氏 名 等													
(体育学研究科 大学体育スポーツ高度化共同専攻(3年制博士課程))													
調書番号	専任等区分	所属大学	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する過当たり平均日数
1	専	筑波大学	教授	キウチ アツシ 木内 敦詞 <令和2年4月>		博士(教育学)		大学体育論 大学体育授業演習I 大学体育授業演習II 大学体育授業演習III 大学体育研究演習 博士論文課題演習I 博士論文課題演習II	1前 1後 2・3後 2・3通 1通 1通 2通	2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1	筑波大学 体育系 教授 (平8.3)	5日
2	専	筑波大学	教授	サカモト アキヒロ 坂本 昭裕 <令和2年4月>		体育学修士		大学体育授業演習I 大学体育授業演習II 大学体育授業演習III 博士論文課題演習I 博士論文課題演習II	1後 2・3後 2・3通 1通 2通	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	筑波大学 体育系 教授 (平14.10)	5日
3	専	筑波大学	教授	シラキ ヒロシ 白木 仁 <令和2年4月>		体育学修士		大学体育授業演習I 大学体育授業演習II 大学体育授業演習III 博士論文課題演習I 博士論文課題演習II	1後 2・3後 2・3通 1通 2通	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	筑波大学 体育系 教授 (平3.4)	5日
4	専	筑波大学	教授	タカキ ヒデキ 高木 英樹 <令和2年4月>		博士(工学)		大学体育授業演習I 大学体育授業演習II 大学体育授業演習III 博士論文課題演習I 博士論文課題演習II	1後 2・3後 2・3通 1通 2通	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	筑波大学 体育系 教授 (平13.9)	5日
5	専	筑波大学	教授	ホンマ ミヨコ 本間 三和子 <令和2年4月>		博士(体育科学)		大学体育授業演習I 大学体育授業演習II 大学体育授業演習III 博士論文課題演習I 博士論文課題演習II コーチングの哲学と倫理※	1後 2・3後 2・3通 1通 2通 1前	2 2 2 2 2 0.1	1 1 1 1 1 1	筑波大学 体育系 教授 (平4.4)	5日
6	専	鹿屋体育大学	教授	マエダ アキラ 前田 明 <令和2年4月>		博士(医学)		体育スポーツ実践の指導演習※ 体育スポーツ実践的研究方法論※ 体育スポーツ実践的研究演習I 体育スポーツ実践的研究演習II 体育スポーツ実践的研究演習III 博士論文課題演習I 博士論文課題演習II 最先端スポーツ科学理論※	1前 1前 1後 2前 2・3通 1通 2通 1通	0.8 0.2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	鹿屋体育大学 スポーツ生命科学系 教授 (平18.10)	5日
7	専	鹿屋体育大学	教授	ヤマモト マサヨシ 山本 正嘉 <令和2年4月>		博士(教育学)		体育スポーツ実践の指導演習※ 体育スポーツ実践的研究方法論※ 体育スポーツ実践的研究演習I 体育スポーツ実践的研究演習II 体育スポーツ実践的研究演習III 博士論文課題演習I 博士論文課題演習II 最先端スポーツ科学理論※	1前 1前 1後 2前 2・3通 1通 2通 1通	0.8 0.2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	鹿屋体育大学 スポーツ生命科学系 教授 (平17.4)	5日
8	専	鹿屋体育大学	教授	タカハシ ヒロオ 高橋 仁大 <令和2年4月>		博士(体育学)		体育スポーツ実践の指導演習※ 体育スポーツ実践的研究方法論※ 体育スポーツ実践的研究演習I 体育スポーツ実践的研究演習II 体育スポーツ実践的研究演習III 博士論文課題演習I 博士論文課題演習II 最先端スポーツ科学理論※	1前 1前 1後 2前 2・3通 1通 2通 1通	1.2 0.2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	鹿屋体育大学 スポーツ・武道実践 科学系 教授 (平31.4)	5日
9	専	筑波大学	准教授	ハセガワ エツシ 長谷川 悦示 <令和2年4月>		体育学修士		大学体育授業演習I 大学体育授業演習II 大学体育授業演習III 博士論文課題演習I 博士論文課題演習II つくばサマーインスティテュート	1後 2・3後 2・3通 1通 2通 1・2前	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	筑波大学 体育系 准教授 (平3.6)	5日
10	兼任	筑波大学	教授	サイノウ ケンジ 齋藤 健司 <令和2年4月>		博士(体育学)		コーチングの哲学と倫理※	1前	0.1	1	筑波大学 体育系 教授 (平17.3)	
11	兼任	筑波大学	教授	アイト ヒロシ 會田 宏 <令和2年4月>		博士(コーチング学)		コーチングの哲学と倫理※	1前	0.1	1	筑波大学 体育系 教授 (平21.9)	
12	兼任	筑波大学	教授	ナベクラ ヨシハル 鍋倉 賢治 <令和2年4月>		教育学博士		大学体育授業演習I 大学体育授業演習II 大学体育授業演習III 博士論文課題演習I 博士論文課題演習II	1後 2・3後 2・3通 1通 2通	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	筑波大学 体育系 教授 (平3.4)	

13	兼担	筑波大学	教授	ヤマグチ カオリ 山口 香 <令和2年4月>	体育学修士	コーチングの哲学と倫理※	1前	0.1	1	筑波大学 体育系 教授 (平20.4)
14	兼担	筑波大学	准教授	カイトシノブ 河合 季信 <令和2年4月>	修士(体育学)	コーチングの哲学と倫理※	1前	0.1	1	筑波大学 体育系 准教授 (平27.4)
15	兼担	筑波大学	准教授	フカザリ コウウ 深澤 浩洋 <令和2年4月>	体育学修士	コーチングの哲学と倫理※	1前	0.1	1	筑波大学 体育系 准教授 (平23.4)
16	兼担	筑波大学	准教授	ムカイ ナオキ 向井 直樹 <令和2年4月>	博士(医学)	コーチングの哲学と倫理※	1前	0.1	1	筑波大学 体育系 准教授 (平9.4)
17	兼担	鹿屋体育大学	教授	キンカ ヒロミ 金高 宏文 <令和2年4月>	修士(体育学)	体育スポーツ実践的指導演習※ 体育スポーツ実践的研究方法論※ 体育スポーツ実践的研究演習Ⅰ 体育スポーツ実践的研究演習Ⅱ 体育スポーツ実践的研究演習Ⅲ 最先端スポーツ科学理論※	1前 1前 1後 2前 2前 2・3通 1通	0.8 0.2 1 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1	鹿屋体育大学 スポーツ・武道実践 科学系 教授 (平22.4)
18	兼任	筑波大学	講師	アサカワ シン 浅川 伸 <令和2年4月>	修士(体育学)	コーチングの哲学と倫理※	1前	0.1	1	公益財団法人 日本 アンチ・ドーピング機構 事務局長 (H15.5)
19	兼任	筑波大学	講師	カツタ タカシ 勝田 隆 <令和2年4月>	博士(スポーツ科学)	コーチングの哲学と倫理※	1前	0.1	1	日本スポーツ振興センター 理事 (平27.7)
20	兼任	筑波大学	講師	コハヤシ カツリ 小林 勝法 <令和2年4月>	体育学修士	大学体育論	1前	0.2	1	文教大学 国際学部 教授 (平13.4)

(注)

- 1 共同学科等を設置する場合は、別記様式第3号(その2の1)に代えて、この書類を作成すること。
- 2 共同学科等を設置する場合は、この書類に加え、別記様式第3号(その2の1)の例により、構成大学別のものを作成すること。
- 3 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 4 私立の大学若しくは高等専門学校に収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認める場合は、この書類を作成する必要はない。
- 5 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

教 員 の 氏 名 等												
（体育学研究科 大学体育スポーツ高度化共同専攻（3年制博士課程））												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年 次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職務に従事する 週当たり平均日数
6	専	教授	マエダ アキラ 前田 明 <令和2年4月>		博士(医学)		体育スポーツ実践的指導演習※ 体育スポーツ実践的研究方法論※ 体育スポーツ実践的研究演習Ⅰ 体育スポーツ実践的研究演習Ⅱ 体育スポーツ実践的研究演習Ⅲ 博士論文課題演習Ⅰ 博士論文課題演習Ⅱ 最先端スポーツ科学理論※	1前 1前 1後 2前 2前 2・3通 1通 2通 1通	0.8 0.2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	鹿屋体育大学 スポーツ生命科学 系 教授 (平18.10)	5日
7	専	教授	ヤマモト マサヨシ 山本 正嘉 <令和2年4月>		博士(教育学)		体育スポーツ実践的指導演習※ 体育スポーツ実践的研究方法論※ 体育スポーツ実践的研究演習Ⅰ 体育スポーツ実践的研究演習Ⅱ 体育スポーツ実践的研究演習Ⅲ 博士論文課題演習Ⅰ 博士論文課題演習Ⅱ 最先端スポーツ科学理論※	1前 1前 1後 2前 2前 2・3通 1通 2通 1通	0.8 0.2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	鹿屋体育大学 スポーツ生命科学 系 教授 (平17.4)	5日
8	専	教授	タカハシ ヒロオ 高橋 仁大 <令和2年4月>		博士(体育学)		体育スポーツ実践的指導演習※ 体育スポーツ実践的研究方法論※ 体育スポーツ実践的研究演習Ⅰ 体育スポーツ実践的研究演習Ⅱ 体育スポーツ実践的研究演習Ⅲ 博士論文課題演習Ⅰ 博士論文課題演習Ⅱ 最先端スポーツ科学理論※	1前 1前 1後 2前 2前 2・3通 1通 2通 1通	1.2 0.2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	鹿屋体育大学 スポーツ・武道実 践 科学系 教授 (平31.4)	5日
17	兼担	教授	キンタカ ヒロフミ 金高 宏文 <令和2年4月>		修士(体育学)		体育スポーツ実践的指導演習※ 体育スポーツ実践的研究方法論※ 体育スポーツ実践的研究演習Ⅰ 体育スポーツ実践的研究演習Ⅱ 体育スポーツ実践的研究演習Ⅲ 最先端スポーツ科学理論※	1前 1前 1後 2前 2前 2・3通 1通	0.8 0.2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1	鹿屋体育大学 スポーツ・武道実 践 科学系 教授 (平22.4)	

- (注)
- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
  - 2 私立の大学若しくは高等専門学校に収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
  - 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
(体育学研究科 大学体育スポーツ高度化共同専攻(3年制博士課程))										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	人	3人	3人	人	人	6人	
	修 士	人	人	人	1人	人	1人	人	2人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	1人	人	人	1人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	人	人	3人	3人	人	人	6人	
	修 士	人	人	人	1人	1人	1人	人	3人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

(注)

- この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。
- この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。
- 専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。